

# 救急車が来るまでに

## できること

大切な人が突然倒れてしまったら…。もしも事故の現場に居合わせたら…。救急車が来るまでの間にみなさんにもできることがあります。救命手当の手順を覚えておきましょう。

消防本部救急課 ☎(823)4019



## 救命手当の手順

※成人用の救命手当です。お子さんなどは方法が変わります。



### 1 反応を確認する

- 呼びかける
- 肩をたたいて反応があるか見る



### 2 119番通報する

- 反応がなければ周りに協力を求める(誰もいない時は自分で119番通報する)
- 近くにAEDがある場合は、周囲の人に持ってきてもらう



### 3 気道を確保し呼吸を確認する

- あご先を持ち上げ気道を確保



**POINT!**  
見て、聞いて、感じて

- 見て…目で胸の上がり下がりを見る
- 聞いて…耳で呼吸の音を聞く
- 感じて…頬で呼吸を感じる

心臓や呼吸が止まった人の救命手当はまさに1分1秒を争います。救急車が到着するまでの時間は平均で約7分間(秋田市)。その間に、そばに居合わせた人が救命手当をすることで命が助かる可能性が大きくなります。また、AED(自動体外式除細動器)を救命手当の中で使うと生存率はさらに上がります。救命手当の手順を覚えて大切な命を守りましょう。

市消防本部では、AEDの設置を公表し、市民の救命率の向上に貢献しようとする事業所などに「AED設置施設標章」を交付しています。AEDを独自に設置した事業所などは、ぜひご利用ください。詳しくは消防本部救急課へお問い合わせください。☎(823)4019

いざという時のための救命手当。市消防本部では、秋田南消防署で定期的に救命講習会を開催(日程は広報あきたに随時掲載します)しているほか、町内会や事業所などの団体に救急隊員が出向いて講習会を行っています。お気軽にご利用ください。団体向け講習会の申し込みは、最寄りの消防署へどうぞ。



AED設置施設標章

# 救急フォーラム 2011

9月18日(日) 午後1時～4時  
秋田県総合保健センター2階  
(県立脳血管研究センター隣)  
参加無料 先着100人  
※お車でのご来場はご遠慮ください。

緊急討論「もしも秋田で大震災が起こったら」(宮古市消防本部ほか。コーディネーターは秋田県医師会常任理事の医師 鈴木明文さん)や、緊急車両・資材見学など。詳しくは秋田県医師会へ。

☎(833)7401

はがきかファクスに郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、9月7日(水)(必着)まで、〒010-0874秋田市千秋久保田町6-6 秋田県医師会救急フォーラム担当ファクス(832)1356

申し込み

## 救急隊の公開訓練

9月4日(日) 午前10時～正午  
河辺総合福祉交流センター

9月9日の「救急の日」にちなんで救急隊の救急活動を実演します。心臓マッサージや、救急車内での活動など。救急車と消防車の見学もできます。入場無料。直接会場へどうぞ。

問 河辺消防署 ☎(882)3300

## 消防団消防操法大会 城東分団と 河辺第三分団が 全県大会へ！

7月10日に御所野の秋田市消防訓練場で、秋田市消防団消防操法大会が開催されました。ポンプ車操法の部で城東分団が、小型ポンプ操法の部で河辺第三分団がそれぞれ優勝しました。

優勝分団は、9月8日(木)に秋田県消防学校(由利本荘市)で開催される全県大会に秋田市代表として出場します。

問 消防本部警防課 ☎(823)4243



## 4 (正常な呼吸がなければ) 2回息を吹き込む

- 鼻をしっかりとつまむ
  - 気道を確保したまま、胸が軽くふくらむ程度に息を吹き込む
- ★出血があるなど、ためられるときは⑤へ進んでください。



## 5 胸骨圧迫(心臓マッサージ)をする

- 胸の真ん中に両手を重ねて置く
- 1分間に100回の速さで30回、胸が4ㇺ～5ㇺ下がるくらい圧迫する

POINT!

左右の乳首の間が胸の真ん中です



\* AEDがない場合、救急隊員に引き継ぐまで④⑤を繰り返してください。



## 6 (AEDがある場合) 電源を入れて パッドを貼る

- 貼り薬があればはがし、汗などを拭いてから、パッドに書いてある図に従って貼る(ペースメーカーがある場合はその部位から3ㇺ以上離す)

POINT!

AEDは、音声ガイダンスに従って操作!



## 7 ショックボタンを押す

- ボタンを押す前に、倒れている人に誰も触れていないことを確認する
  - AEDの音声に従いボタンを押す
- \* ショック後は、救急隊員に引き継ぐまで、AEDの音声に従って⑤胸骨圧迫と④人工呼吸を続けてください。

「離れて!」

「7月25日、障がい者支援施設「秋田ワークセンター」で救命講習会を開催しました。参加した同センター職員の富野槇子さん(写真)は「実際にAEDを使う場面に遭遇したことがあります。何回か救命講習を受け、やるべきこと、救命の流れが分かっていたので、少し慌てましたが対処できました。救命講習を受けて、命を救える可能性を多くの人を持つてほしい」と話してくれました。



救急隊員が指導します



救命講習会に  
参加しました